

大阪フロイデニュース

Freude

vol. 12-16 2019. 3. 27. wed

3月 ありがとう

大阪フロイデ合唱団 Tel 06-6358-2626
〒530-0041 大阪市北区天神橋2-1-18-4B
ホームページ <http://www.osakafreude.com>
メールアドレス info@osakafreude.com

次回のコンサートが決まりました (●^o^●)

ちょっとまだ、実感がわかないかもしれませんが!? 「次の演奏会」決定\(@o@)/!

2020年4月15日(水) いずみホール (オケ合せは4月13日(月))
モーツァルト「三位一体の祝日のミサ」K.167 (1773) (約30分)
ハイドン「ネルソンミサ」(困苦の時のミサ) (1798) (約40分)

モーツァルトのK167は1773年6月5日「三位一体の祝日」のために作曲されたもの。その前年1772年、ザルツブルク大司教に(宿敵!?)コロレドが就任したのでした。

(ネット情報のつまみ食いによると)「この曲はオーケストラの華麗さを十分にそなえた荘厳ミサ曲であるが、独唱をまったく用いず、終始一貫して合唱で歌われる唯一のミサである点で異例の作品である。独唱部分の放棄は、大司教の要求した時間の節約をはかったものと思われる。」ですって。大阪フロイデは昨年、モーツァルトのザルツブルク時代最後のミサ(荘厳ミサK377)を演奏しましたよね、今回は、コロレドとの対決第1ラウンド!というわけ!

ハイドン「ネルソンミサ」は、合唱好きなら一度は名前を聞いたことがあるのでは? (またしてもネット情報のつまみ食いによると)「ハイドンの作品の校訂を数多く手がけた音楽学者、H.C.ロピンス・ランドンは『間違いなく、ハイドンによる作曲の中で最も素晴らしい作品だ』と述べた」そうです。ちなみにこの曲、オーケストラの編成が非常に小さくて、特に木管楽器が殆ど無いのですが、その理由は「ハイドンのパトロンであったニコラウス・エステルハーゼは、政治的にも経済的にも不安定な状況にあったため「ネルソン・ミサ」の完成の直前に、楽団の管楽器セクションを解雇してしまっていた。そのため、ハイドンは、弦楽器、トランペット、ティンパニ、オルガンのみから成る楽団で演奏せざるを得なかった。その後、後代の編集者が木管楽器パートを創作して付け加えたが、近年の演奏では(木管楽器を欠いた)原点版の編成が再び受け入れられるようになっている。」ですって。「困苦の時のミサ」という副題は、このシンドイ状況を言ったとか!?

というわけで、いろいろエピソードもおもしろそうな、この2曲。プッチーニとはまた全然違う音楽で、合唱スキルもまた一歩前進しそう、(^o^)! たくさんの仲間とうたいたい!

まずは、プッチーニをステキに演奏して(そんでもって、客席もいっぱいにして)お客様から「あそこで一緒にうたいたい」と思ってもらえるようにしましょうね!

練習の「ワタテ」**Largo**の気持ち

3/20の女声練習は由也先生。おっ、をまじで

指導したおと寝は「ワタテ」に「唱!」と入って来た☆

グロリアの音楽はほん「おっ」? 場面場面芝居かかろ?

「おっ!」「おっ!」と大はげしひとろ...

じん、と熱い!! と凝縮して「ありがとう」と、と語り...

いつかは先を争うように「神業!」キッスして「心」と走、と...

...とか、と、このテンポはこうだった。こぼすはした。... このmfは凝縮してた。...

ハートに音楽がしほたる練習をした

グロリアのこのLargoも単にテンポのこぼして

前のこぼからとんとん盛り上げた。満ちて高い声に言う「a. men」だった。Pesantiは(辞典をひくと、単に「重く」であら)言うた。

厳しく「あま」の感じ。アクセントマロトのMaestosoの盛りはゆるい。こう教えたいたこと。このまじの長い長いグロリアが「ここに到達した!」

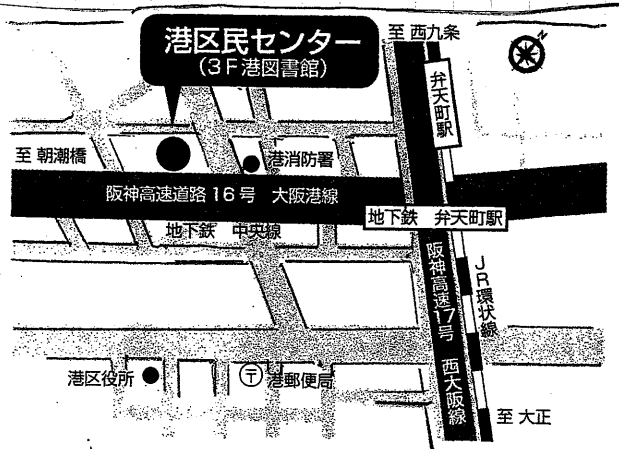
か。このLargoにこぼしてワタテした。

これこそワタテ。ワタテの楽譜を「ホ」で見るとこぼ!

由也先生か。これは音か。とんとん上からとあり、こぼして「あ」とおしやるこぼ。楽譜をハートで見ると。感じるはあこぼ。イッパイありしたね。

ありあけの音楽表現を、いっほいこぼ。こぼしてこぼ。こぼしてこぼ。表現してよ。こぼ。と、痛感して練習した。is.

- 4/3(10) 18:30 堀江P.U.T
- 4/10(10) 18:30 堀江P.U.T
- 4/14(9) 13:15 港区民センター (〒外 説明会)
- 4/17(10) 18:30 堀江P.U.T
- 4/24(10) 18:30 比治山P.U.T



所在地 〒552-0007 大阪市港区弁天2-1-5
 TEL 06-6572-0020 FAX 06-6572-0274
 最寄駅 地下鉄中央線・JR環状線「弁天町」下車徒歩7分